

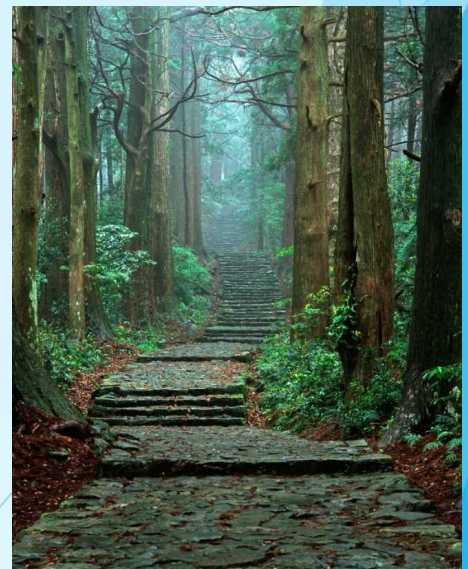
土砂災害啓発センターの防災教育 (修学旅行での防災教育)



土砂災害啓発センターは、土砂災害に関する防災・減災についての啓発活動を行う県内唯一の施設で、近辺には那智の滝や世界遺産の熊野古道など、貴重な観光資源が位置しています。土砂災害は梅雨や台風シーズンを中心に多数発生し、毎年犠牲者が出ている自然災害です。

“身近で発生する災害”である土砂災害について、正しい知識を身につけ、正しく備えるための防災教育を修学旅行で提案します。

修学旅行での防災教育
令和2年度実績 県内11小・中学校

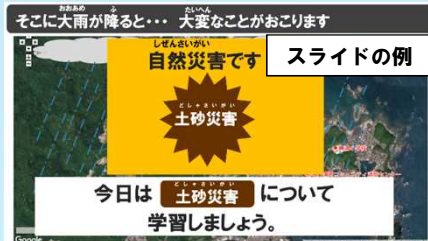


修学旅行での防災教育の例 (小・中学校、高等学校)

(土砂災害啓発センターでの授業)

①土砂災害の性質、土砂災害から身を守るための知識を学ぶ。

(30分)



②ハザードマップの見方や土砂災害から身を守る方法について学習する。

(20分)

啓発センター手作りのハザードマップ



③土石流実験装置で砂防えん堤の効果を確認する。

(15分)



④砂防えん堤の現地見学をする。

(15分)



(90分)
時間の目安です。
ご相談に応じて調整させていただきます。

修学旅行の予定については是非気軽にご連絡ください。

住所: 東牟婁郡那智勝浦町市野々3027-6
Tel: 0735-29-7531 Fax: 0735-29-7534
土砂災害啓発センター まで

和歌山県土砂災害啓発センター



□土砂災害啓発センターとは

- 平成23年の台風12号による甚大な土砂災害を契機に設置された県の施設
- 土砂災害に関する調査研究と啓発活動の拠点となる施設 (過去の土砂災害の記憶と教訓を後世に伝承)

啓発センターホームページです。

